



## 夏休み自然観察

### 記録コンクール

#### 小学校二年生の

#### お母さんの手紙

早いもので、夏休みも終わり二期に入りました。

今年の夏休みは、事情があって慌しく過ごしてりましたが、息子の一将は、昨年「佳作」を頂いて以来、周囲が驚くほど一人で黙々と、自分が愛情を込めて育てた生き物の観察研究に取り組んでおりました。

再びこの様な機会を与えてくださった北海道自然保護協会に、改めてお礼申し上げます。主人も普段、土日関係のない仕事で、休みはめったにありませんが、息子のためにザリガニやオタマジャクシの卵を取ったり、そして一緒に育てたり、図鑑を調べたり、本当に、この機会のお陰で、家族が夢中になる素晴らしい経験が

出来ました。

そして息子は、本当に自然体で生命の神秘さを受け止めることが出来たようです。

そのことで、自分の手で絵を描いたり、写真を写したり、そして文章で表現できる喜びを見出しておりました。

改めて手にとると、決して上手とは言えませんが、素直に伸び伸びと息子らしさが表れているように思われます。

また、作品が返却されないのでも「今年をあきらめよう…」と申しましたら、本人は「それでも…どうしても提出したい」と強く希望しました。

—— 中略 ——

また来年お会いできますよう…。北海道自然保護協会のご発展をお祈り申し上げます。

(山本 美貴子)

☆ ☆ ☆

自然に親しみ、自然の仕組みを知り、そして自然を大切に育つていくことを願って始めたコンクールです。自然を大切に育つ心は、他人への思いやりの心でもあります。たいへん嬉しいお便りでした。

(熊木 大仁)